

# 破天荒

教宣部

4989号

2015年  
4月 9日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合

## 2015 春闘 5 次回答 (最終)

### 従業員の声は届かず…

# ゼロのままですが集約

賃上げ交渉も5回目を重ねましたが、会社回答は変わらずゼロのままでした。五回の間に得るものがあつたかという何もなし。これ以上続けても得るものが無いので集約の方向とします。

#### 賃上げ

今年も年齢に応じた本人給表の改訂は行われませんでした。正社員は四月一日に遡り、5月分給与にて各年齢にあわせ清算されま

過去は竹中の業績が良くても世間が賃上げしなければいけない。業績が悪くても世間が賃上げすればせざるをえないという説明でした。

これからはトップが変わって「世間を理由にしない」という説明です。世間で賃上げしなくても竹中グループ全体で安定して売上・利益があれば賃上げもありうると思っています。しかし口約束はできないらしいです。

#### 最低賃金

最低の時給八四〇円が八五五円に改訂されました。契約社員さんの賃金改定は五月十六日からだそう、六月分給与からの反映です。誰でも十五円上がるのではなく八四〇円の方が八五五円以上になるという意味合いです。



#### 雇用延長

究極のところ、再雇用者の最低賃金をいくらにするかという保障があれば組合は甲種嘱託社員就業規則に署名できるのかもしれないと監督へ届出でていきません。就業規則を労働基準監督署へ届出でていきません。

組合は夫婦二人で暮らしている賃金を文書化するよう求めています。会社は「何をやってもその賃金をもたらえると思われては困る」として、再雇用者の賃金に關してはトップが提示し受けるか否かは本人の問題としています。

#### 先代と二代目

現会長に交代し、労務政策の考え方の違いとして、先代のやり方は甘い面があつたと考えているそうです。企業間競争を勝ち抜くために変革中のやり方なら、過去でももっと売上も利益も上がっていたらう

し、リーマンショック時もうまく対応できたと思っっているそうです。



#### 団交レポート

今日の団行で春闘は終わりとなりました。全竹中の所属している化学一般の他支部では、低いながらベアスアップが6支部ありました。第一工業製薬の千円、新日本理化学の五百円、作新工業の一百五十円、その他。

本日の交渉で百円、二百円の賃上げは意味がないとの発言がありましたが、それなら作新工業の回答はどうなるのでしょうか。

職場では今までの業務スタイルを新規変更、業務管理も強化され、少なからず不満の声をあちこちで聞きます。新入社員増はうれしいのですが、まじめに頑張っている社員も多



#### ひとり言

戦争できる国にするため最終的に憲法を変えようと暴走している安倍首相。暴走を止める取巻きはいないのか。終戦から七十年、新しい時代のためと思いついてるのだから、歴史を戦前に戻したいと思えない。歴史は繰り返す。過去から学ばない奴はバカだと思

同一年齢で倍近い差がある賃金実態、高いといつても世間では最低水準、極めてひどい労働条件、「けじめ」などという理由による「朝のあいさつ」の強要、残業や出張の強要など、それらの是正を求め全竹中労働組合が結成された四一年。組合が結成された四一年。組合の弱体化と共に、組合結成前の状況に戻っていると感

「あるべき姿」という言葉で、会社が決定する経営理念・経営方針という考え方の枠内での対応。労働強化、サービス残業、賃上げの否定など…。オーナーにはイエスマンの取巻きしかいない。歴史を振り返ってひと

